

# すべて自前じゃなくてもいいのでは？ ～外部の力を取り入れたお祭り運営～



高森東連合町内会 会長 でんの さだお 傳野 貞雄さん

## 創意工夫も負担軽減も目指す

泉区にある高森東連合町内会は、5つの単位町内会からなる連合町内会で、令和5年6月時点で1,866世帯が所属しています。この地域では、「高森東夏祭り」を実施しており、来場者は毎年1,000人を超えるなど、大変賑わいのある恒例行事となっています。令和5年度は、新たな取り組みとして「キッチンカーの手配」など、さまざまな創意工夫を加えるとともに、運営側の負担軽減も目指しました。

## キッチンカーの手配により みんなで楽しむお祭りに

町内会で例年通り出店をしているブースもあるのですが、令和5年度からはそれに加え、キッチンカーを手配しました。手配料は無料で場所代も頂いていないため、当日の売り上げは全てキッチンカー側の収益となります。



手配したキッチンカーの様子

このキッチンカーのうち、特に焼き鳥が好評で、地域の子もたちも多く並びました。15時から開場していたのですが、16時ごろには用意していた材料が全て無くなってしまふほどでした。19時にお祭りが終了し、最終的には当初想定していた3倍以上を売り上げました。また、キッチンカーを手配したことにより、地域

の方々の負担が減り、純粹にお祭りを楽しむようになりました。マジックショーを観覧したり、民謡を歌いながら一緒に盆踊りを踊ったりすることで、今まで以上にお祭りらしくなったと感じます。

また、キッチンカーはテントを設営する必要がなく、開始・終了時間がスケジュール通りに進むため、運営側がお祭り終了後の家族等との予定を組みやすくなった点もメリットと言えます。

## 必要な部分には思い切って経費を

会場内のテントや机・椅子等をこれまではレンタルして町内会の役員等にて設営を行っていましたが、今年は本部テント以外の設営を事業者にお願ひしました。それに加え、多くの家庭で持っているキャンプ用の簡易テントを持ち寄る形にしたところ、例年よりも設営が楽になりました。

また、子どもたちを集める工夫として、100円分の引換券を1人あたり3枚ずつ配布しました。これはお祭りで使用できるもので、使用したものは後日出店者が取りまとめ、町内会に請求するシステムとしました。

その他としては、集客のためにお祭りのチラシに抽選券を付けたこと、来場者数のカウント方法を楽にするために会場入口で来場者の手首にバンドを巻いたこと、来場者に各自ごみを持ち帰っていただくために会場内のごみ箱を廃止してごみ袋を渡すなど、さまざまな取り組みを行いました。

これらの取り組みから、必要な部分には思い切って経費をかけた方が上手くいくことが分かりました。キッチンカーの手配や会場設営を事業者にお願ひすることのように、町内会の外に役割の一部をお任せすることも一つの手段として大いに有効だと考えます。ただ、聞いた話によると、キッチンカーは引く手あまたとなっており、確保するのが難しくなっているようです。手配の際は早めの行動を心掛けるようにした方が良いかもしれません。